



ボラン。て

9月

「ボラン・て」の「て」は、つなぎあう人と人の「手」。手を借りたり、貸したりするためのボランティア情報をイメージして名づけました。

～出会い・つながり・発見！～

—CROSS TALK (クロストーク)—



「夏のボランティア体験」(通称：夏ボラ)で毎年ボランティア受け入れにご協力をいただいている2つの団体に、ボランティアを受け入れる想い、対話を通じての気づき、そして、ボランティアの方にはどんな気持ちをもってもらいたいかなどについて、クロストーク(対談)していただきました。

【特集】 公益財団法人オイスカ

啓発普及部 課長

はやしくみこ

林 久美子さん(写真左)

NPO法人日本生活・語学支援機構(通称：エルジェ)

理事長

みやはら あつこ

宮原 睦子さん(写真右)

3面...夏のボランティア体験 報告

チャレンジ! ボランティア ご案内

裏面...傾聴ボランティア ご案内

この情報紙は、区内のボランティアの方々に、宛名シール貼り、封入作業を行っていただき、発行しています。いつもご協力ありがとうございます。

【特集企画】 ～出会い・つながり・発見！～ —CROSS TALK(クロストーク)—

「公益財団法人オイスカ（以下「オイスカ」）」は、「すべての人々がさまざまな違いを乗り越えて共存し、地球上のあらゆる生命の基盤を守り育てようとする世界」を目指して1961年に設立。本部を日本に置き、41の国と地域で活動を展開する国際NGOです。

「NPO法人日本生活・語学支援機構（以下、通称の「エルジェ」）」は2011年設立。生まれた国や地域、文化や習慣の違いにかかわらず日本で暮らす人たち（外国籍の方等）がより充実した時間を過ごせるようにサポートするNPOです。

今回は、オイスカ啓発普及部・林久美子さんと、エルジェ理事長・宮原睦子さんのクロストークです。

団体の活動内容について

林：オイスカは国際協力NGOです。主にアジア太平洋地域で農業技術指導を通じての人材育成や緑化活動を行っています。子ども達による植林活動も支援しており、昨年創立60周年を迎えました。本部事務所が杉並区にあり、私は会員向け広報誌の作成や、情報発信等を行っています。



▲オイスカ・林さん

宮原：私は2011年の東日本大震災の時、友人とはじめたボランティア教室で日本語を教えていました。当時、学習者が不安を感じ、たくさん相談を受けるようになりました。その時、安心して日本で生活してもらうためには、日本語を教えるだけではなく、生活上の必要な情報やサポートを提供したいと思いました。そこでNPOを立ち上げ、今年で12年目になります。日本語教室はずっと続けており、ほかに課外学習として、生活の支援（防災訓練等）や文化の紹介（着付け講座や和菓子づくり体験等）をしています。スタッフも皆ボランティアなので時間の調整が難しいですが、楽しく活動をしています。



▲エルジェ・宮原さん

夏のボランティア体験への想い

宮原：エルジェでは、夏ボラでボランティアの方に日本語教室のお手伝いをお願いしています。以前は夏まつりを企画し一緒に楽しんでもらっていました。現在はコロナ禍のためオンライン

情報紙「ボラン・て」では今年度の企画として、地域活動団体や人同士のクロストークをお届けします。①話している団体・人同士が新しい発見や気づきがある②読者の方々が地域活動をするためのヒントとしていただく、そのような企画になることを願っています。

で教室を行っており、夏ボラでも日本語や日本文化を教える体験をしてもらっています。

林：オイスカでは、ベルマーク※を年間で約70万点集め、それを海外の子ども達の植林支援に繋げています。夏ボラでは、ボランティアの方にベルマーク1枚1枚の仕分けや集計をしてもらっています。ベルマークをゴミにしてしまう方もいると思いますが、集めると支援につながりますので、全国の方がベルマークを集めてくださっています。



▲オイスカに集まったベルマーク

※ベルマーク：食品や文具等のパッケージについているマーク。集めることで学校等の備品購入や支援に活用できる。

宮原：ベルマーク整理は絶対に人の手が必要で、人のつながりの大切さがわかりますね。

林：以前オイスカに来てくれた台湾の留学生が、台湾で売っている日本のお菓子についていたベルマークを送ってくれたことがあり、嬉しかったです。



▲夏のボランティア体験
エルジェ・国際交流(zoom)

宮原：エルジェでも、2018年に夏ボラに参加してくれた中学生が、今は高校生スタッフとして参加してくれるようになりました。新しく高校生グループを作って活動しています。思いがけないことで、本当に嬉しかったです。

林：夏ボラは中高生が多く来てくれるので、事務所が賑やかになり楽しいです。せっかくの機会に学んでもらいたいので、海外支援の写真をたくさん見てもらい、「ベルマークが〇〇点だから、苗木〇本分になったね」と、海外支援につながるイメージがもてるような説明をしています。

宮原：私も同じです。来てくれるだけで嬉しいですし、何か1つでも発見して持ち帰ってもらいたいと思っています。

ボランティアしてみたい方へのメッセージ

林：夏ボラは誰にでもできる内容がよいと考えていましたが、今後はいろいろ考えてもらう機会になると良いと思いました。夏ボラに限らずいつでもウェルカムなので、お気軽にいらしてください。

宮原：一緒に活動したり、楽しい場を築いたりしてもらえる人に来てもらいたいです。エルジェ以外にもその人に合った活動があると思うので、ボランティアを通じて一歩前進してもらえると嬉しいです。

公益財団法人オイスカ

〒168-0063 杉並区和泉2-17-5
TEL：03-3322-5161 メール：oisca@oisca.org
公式サイト <https://oisca.org/>

NPO法人日本生活・語学支援機構（エルジェ）

〒167-0053 杉並区西荻南1-19-21まえかわ歯科医院気付
TEL：03-6685-0202（10:00～18:00）
公式サイト <https://www.lj-j.org/>



杉並ボランティアセンターでは、【夏のボランティア体験2022】(通称：夏ボラ)を開催しました。10のプログラムに多くの方がご参加いただきました。

夏ボラでの経験が、これから新しいボランティア活動に参加するきっかけになれば嬉しいです。ご参加いただいた皆様、ご協力いただいた団体・施設の皆様、ありがとうございました。

(プログラムの一部をご紹介します。)

防災まち歩き
(8/6) 9名参加



参加者感想：危険な場所を知ることができて良かったです。



手話体験 (7/26・29)
11名参加

点字体験 (8/3・5)
16名参加



参加者感想：白杖でも全盲とは限らないと知りました。



ちょこっとボランティア (毎週金曜他)
(マグネット作り、手縫い雑巾等)



福祉学習・白杖と車椅子
(8/20) 11名参加

すぎなみ地域大学&杉並ボランティアセンター共同開催

募集!

【チャレンジ! ボランティア特別企画】

「地域活動はじめての一步」

「地域活動ってなんだろう。自分にできることがあればやってみたいけれど、始め方が分からない」そんな方におすすめです。

【日時】令和4年10月22日(土) 13時30分~16時30分 (開場13時)

【会場】永福和泉地域区民センター第4集会室 (和泉3-8-18)

【講師】清水 孝幸 氏 (東京新聞事業局長)

- ゲスト ・秋山 昌寛 氏 (杉並健康づくりリーダーの会)
- ・阪野 俊治 氏 (杉並災害ボランティアの会)
- ・小谷 好美 氏 (杉並区救急協力員)

【対象者】区内在住・在勤・在学の方

【定員】30名

【受講料】無料

【募集締切】9月28日(水)

【申込】ホームページ、FAX、郵送にて

杉並区地域課 協働推進係 すぎなみ地域大学担当

〒166-0015 成田東4-39-13 杉並区役所分庁舎2階

電話 03-3312-2381 FAX 03-3312-2387

ホームページ <https://member.sugi-chiiki.com/tiikidaigaku/>

Hello!
登録団体さ〜ん Vol.06

★杉並ボランティアセンターの登録団体を紹介するコーナー。団体登録受付中!

備蓄は大切です!

◆NPO法人すぎなみ栄養と食の会 非常食研究部

- ・活動内容：災害時に備え、インフラがストップした時の食の備蓄法(ローリングストック法)の研究、簡単レシピの開発等をして区民に広める、防災フォーラムへの参加等。
- ・活動場所：ゆうゆう桃井館
- ・活動日時：第1月曜日、イベント時は随時



お問合せ

杉並ボランティアセンター

〒167-0032 天沼3-19-16

ウェルファーム杉並4階

TEL:03-5347-3939 FAX:03-5347-2063

H P: <http://borasen.jp/>

ぼらせん.jp

検索



あなたのお話 お聞きします

傾聴ボランティア



月に1回1時間程度、ご自宅や福祉施設等で、あなたのお話をゆっくりお聞きします。
「傾聴ボランティアに来てもらいたい」そんなご希望がありましたら、杉並ボランティアセンターまでお気軽にお問い合わせください。

傾聴ボランティアとは、傾聴ボランティア養成講座を受講する等、傾聴について学んだ地域の方々です。杉並区内では、13グループが活動しています。

杉並区内 傾聴ボランティアグループ
傾聴ボランティア杉並活動の会
西荻傾聴ボランティアの会
チェリー傾聴の会
さざんか傾聴の会
傾聴ボランティアてまりの会
なごみ傾聴の会
のどか傾聴の会
LBJ 傾聴サークルクローバー
傾聴サークルこもれ陽
ゆうゆう傾聴の会
NPO法人ともしび会
傾聴の会「せんせん」
なでしこ傾聴の会

傾聴ボランティア利用の流れ

杉並ボランティアセンターへ相談

施設やご自宅へ職員が訪問し、希望内容の確認
(施設職員やケアマネジャー等に同席していただきます)

傾聴ボランティアグループへ依頼

傾聴ボランティアとの引き合わせ、確認書の取り交わし
(施設職員やケアマネジャー等に同席していただきます)

利用開始



傾聴ボランティアグループの皆さん

お問い合わせ：
杉並ボランティアセンター
☎ 03-5347-3939

- ・ 料金は無料ですが、交通実費をご負担していただく場合があります。
- ・ 家事・生活支援等の傾聴以外の活動はしません。
- ・ 傾聴ボランティアは守秘義務がありますので、皆様から聞いたお話を外部には一切お聞きしません。



杉並のボランティア情報紙「ボラン・て」

発行：社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会
杉並ボランティアセンター

〒167-0032 杉並区天沼3-19-16 ウェルファーム杉並4階
TEL: 03-5347-3939 FAX: 03-5347-2063
メール: info@borasen.jp ホームページ: http://borasen.jp

うえるくん
杉並社協のイメージキャラクター

開所時間：火～土曜日
8:30～17:00

* 祝日・年末年始はお休みです。



情報紙「ボラン・て」は、次の区内各所にも置いてありますのでご利用ください。区役所・区民集会所・区民事務所・地域区民センター・一部のゆうゆう館・図書館・駅スタンド（区内 JR、地下鉄丸の内線など）・他